

# 設工認と実機の整合性確認について

2021年11月9日  三菱原子燃料

●設工認には、製作図面の情報のうち、機能を果たすための主要な事項を記載している。その中で、使用前事業者検査において設工認の記載と整合していない事例（加工棟の堰、放射線管理棟前室の貫通孔）が認められた。

●原因  
・設工認との相違が生じた原因として、施工図作成・施工段階で設計レビューが十分に機能していなかった。  
・安全機能上問題なければ良いと施工部門が過去に誤認していた。



RCA結果に基づき設工認と図面の一致の観点から要領書を見直し、周知徹底した。更に、仕組みや風土改善に向けた取り組みを実施。



●総点検の実施（設工認図面と実機の比較）  
設計レビューが十分に機能していない可能性を重く受け止め、10/1以降、設工認図面と実機の相違について、総点検を実施した。この際、以下の事例が確認された。  
・循環槽の接続ラインの相違 ⇒ 設工認に整合させるよう再施工  
・分光分析室の天井位置 ⇒ 設工認に現状を反映させるべく設工認変更届

●不適合水平展開について（検査対象漏れ防止のための確認）  
従来より検査要領書上で設工認図面の色塗りで検査対象を確認していたが、更に設工認との整合を徹底するため、以下の考え方で水平展開を実施し、検査漏れが他にないことを確認した。

◇仕様表関連

- ・取付ボルトなど、仕様表に記載された事項 ⇒ 様式-2の整理により確認済み
- ・モニタリングポストなどの仕様表中の別表記載事項 ⇒ 様式-2への別表の反映とチェックにより確認済み

◇図面関連：図面で確認すべき事項\*

⇒ 設工認図面の色塗りチェックにより確認済み

\* 消火栓のホース収納箱員数確認は、消火栓とホース収納箱が一体という誤解があったため漏れた特殊な事例だが、本件も色塗りチェックとして実施済み

◇材料一覧：検査対象部位の総点検を実施 ⇒ 検査対象の抜け漏れがないことを確認済み



設計レビューが十分に機能していない可能性も考慮して点検し、是正した結果、設工認との整合は図られていると考えている。